

学校教育目標

主体的・対話的に学び、心豊かに未来を切り拓く児童の育成

論理的に考え、表現する児童の育成

～子どもと共に「創る授業」を目指して～

<目指す児童の姿>

- *根拠や理由を明確にして考える
- *必要な事柄を用いて筋道立てて表現する

ひまわり憲法

- 「ひ」一人一人が元気にあいさつ
- 「ま」まわりを思いやる心
- 「わ」わがママをおさえる心
- 「り」理想にむかってがんばる子



【仮説】

課題意識をもち、見通しとゴールイメージを明確にした課題解決型授業の中で、根拠と理由をはっきりさせながら考え、表現していく。ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」の工夫と、対話を通した「協働的な学び」を融合させながら、よりよい解決方法を思考していく中で、論理的に考え、表現する児童を育成することができるであろう。

主体的・対話的で深い学びのある授業

【「個別最適な学び」と「協働的な学び」の融合+ICT活用】

- *明確な課題意識と解決のための見通しをもてる授業づくり
- *根拠を明確にし、筋道を立てて表現する力を高める授業づくり

授業基盤づくり

【対話力向上】

- *自分の考えを明確に話す力
- *確かに聞き取る力
- *問い返して広げ深める力

【個別最適な学び+ICTの活用】

- *自分に合った学び方を選択する力
- *ICTを活用し、考えを深める力
- *教員のICT活用力、指導力

学習基盤づくり

- *学習規律の確立（話す聞く姿勢、あいいうえお反応+）
- *朝自習・粟ノ保タイムの充実
- *暗唱テストの実施
- *家庭学習の充実
- *学習環境の充実

「学力向上ロードマップ」による体制づくり

- *調査チーム……分析・研修計画、検証・研修支援
- *研究チーム……学力向上、研究推進・指導力向上、授業研究
- *実践チーム……授業基盤（対話力、ICT活用）、学習基盤（基礎基本、学習環境）